

トラックが角を曲がってくると、戦闘が始まります。まさに全面戦争です。まるでマッドマックスの映画の中にいるような、憑りつかれたような感覚になります。それで、スペインの美しい小さな町、ブニョールに行ってきました。そこではラ・トマティーナという素敵なお祭りが開催されます。

ラ・トマティーナは1940年代に、ちょっとしたフードファイトとして始まったのですが、それ以来、どんどん大きくなっていきました。この祭りを自分の目で見て、一体何なのか知りたかったんです。でも、理解できませんでした。一体どうやってこんなことが起こるんだろう？あんなに狭い通りで、世界最大のフードファイトができるんだろう？

ナジルに会ったのは、お祭りの前日でした。ナズはまさにチャンピオンでした。ラ・トマティーナに来たきっかけは何ですか？世界中の様々な都市やお祭りの生活を体験したかったんです。1ヶ月以上旅をして、今ここにいます。ほんの小さな繋がりが、また繋がり、そしてまた繋がりへと繋がりました。ナズがいなければ、ハロルドとダニエルに出会うこともなかったでしょう。ハロルドとダニエルは、私たちが今知っているこの祭りの歴史について、ほとんどすべてを教えてくださいました。1946年には、2つの庭園が隣り合っていました。片方がもう片方に「お前は馬鹿だ」と言いました。

私のトマトはあなたのトマトより美味しいよ。それで、彼らの一人が「私？」って言ったんだ。彼はトマトを摘んで道に投げた。そして庭から出てきた時、トマトが彼の頭に当たったんだ。「ペペ、一体どうしたの？」
ファンが大きなトマトを投げてくれて、目をこんな風に！こんな感じで！
ああ、いいね！ トマトが全部このイベントのためだけに使われるなんて、もったいないと思う？ もったいない？
いいえ、そうは思いません。通常、ブニョールに来るトマト、トマティーナは食べるトマトではありません。そして、これらのトマトは、このイベントのために特別に栽培されているのですか？その通りです。
では、なぜこの祭りがこの町にとってそんなに重要なのでしょうか？
多くのブニョール人が仕事のためにブニョールを去るからです。
この祭りは、とても親しみやすい家族の再会です。この祭りは彼らの町にとってとても大切なのです。

ちょうど日が昇り始め、すでに人々はパーティーを始めていました。サングリア、ビール、そして踊る人々の姿がありました。町のあちこちにロッカーがあるので、荷物が詰まったバッグを持っていく場合は、そこに預けて料金を払って保管してもらえます。地元の人に話を聞いたのですが、みんな同じことを言っていました。着る服はダメになるそうです。

それで、僕は町の安っぽい店に行って、白いシャツとゴーグルと、すぐにダメになる安物の靴を買ったんだ。時計、サングラス、宝石類は家に置いてきちゃった。みんなすごくすごくいい気分だよ。僕も今、すごく電気が走っているような気分だよ。よく見て。すぐにこんな風にはならないからね。イベントが始まる前に、通りを行ったり来たりできるんだけど、歩いていると地面に人がいたり、建物の上に人がいたりして、水をかけられたりする。

まるで試練の場みたいだ。礼拝堂の前にある大きな教会には、大きな柱があって、大きな木の柱で、油で塗られた柱のてっぺんにハムがあって、誰が登ってハムを取って降ろせるか競争なんだ。この柱にこびりついた石鹸の量を考えると、事実上不可能だ。

一体何の意味があるんだ？理解できない。でも彼らはそれが大好きなので、毎年やっている。そしてトラックが降りてくる。そのトラックには、チーム全員が乗ってトマトをぶつけてくる。

まさに、あなたを叩きのめすような感覚です。そして戦いが始まり、まさに全面戦争です。飛び跳ね、手を叩き、一緒に合唱を始めます。まるで憑りつかれたような気分です。それが1時間ほど続きます。最初は、1時間なんてそんなに長くないと思いました。たった1時間のためにここまで来たんだから。

でも、最後のトラックが去ると、ああ、本当によかったと思いました。するとすぐに、地元の人たちが集まってきて、防水シートを取り外し、大きな高圧ホースを取り出し、壁をこすり洗いし始めました。町全体がここに関わってくれるのです。毎年、地元議会がホースの設置を手伝ってくれ、その後私たちが片付けます。みんなとても協力的です。すべてがきれいになります。1時間でトマト畑が完成すると、すべてがきれいになります。すべてが完璧です。そして彼らは通りで音楽を演奏し、食べ物を路上に運び出し、皆にとって家族の行事のようになります。ですから伝統的に、喧嘩の後には皆が川で身を清めるのです。

体をきれいにするために長い列ができていました。小さな水路があって、小さな川があったのですが、そこはかなり汚くて不潔でした。まるで顔に糞をぶつけたような気分でした。でも、少し藪の中を歩いていくと、こんなに美しく手つかずの滝に着きました。最後にそこに飛び込んで、すべてを洗い流し、肌を生き返らせる感覚。本当に最高です。本当に素晴らしい。何も持たずにそこに行けて、そこで食べ物を買ったり、地元の人たちを応援したり、このイベントに参加したりできるなんて、本当に素晴らしい。私にとって、それが旅の醍醐味の一つです。